

図 8.1-17(1) 地形地表濃度コンター【風向:北、風速 1.8m/秒】

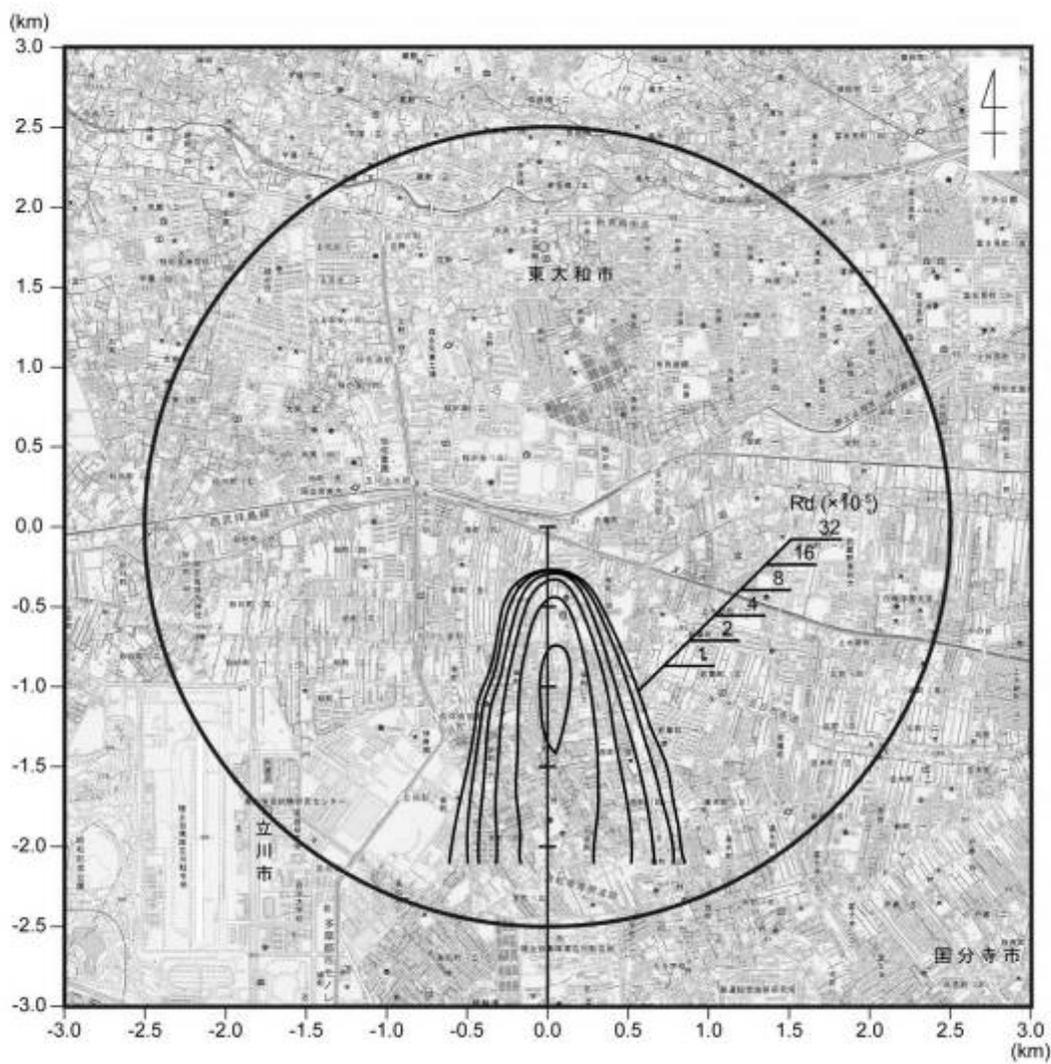


図 8.1-17(2) 地形地表濃度コンター【風向:北、風速 3.5m/秒】

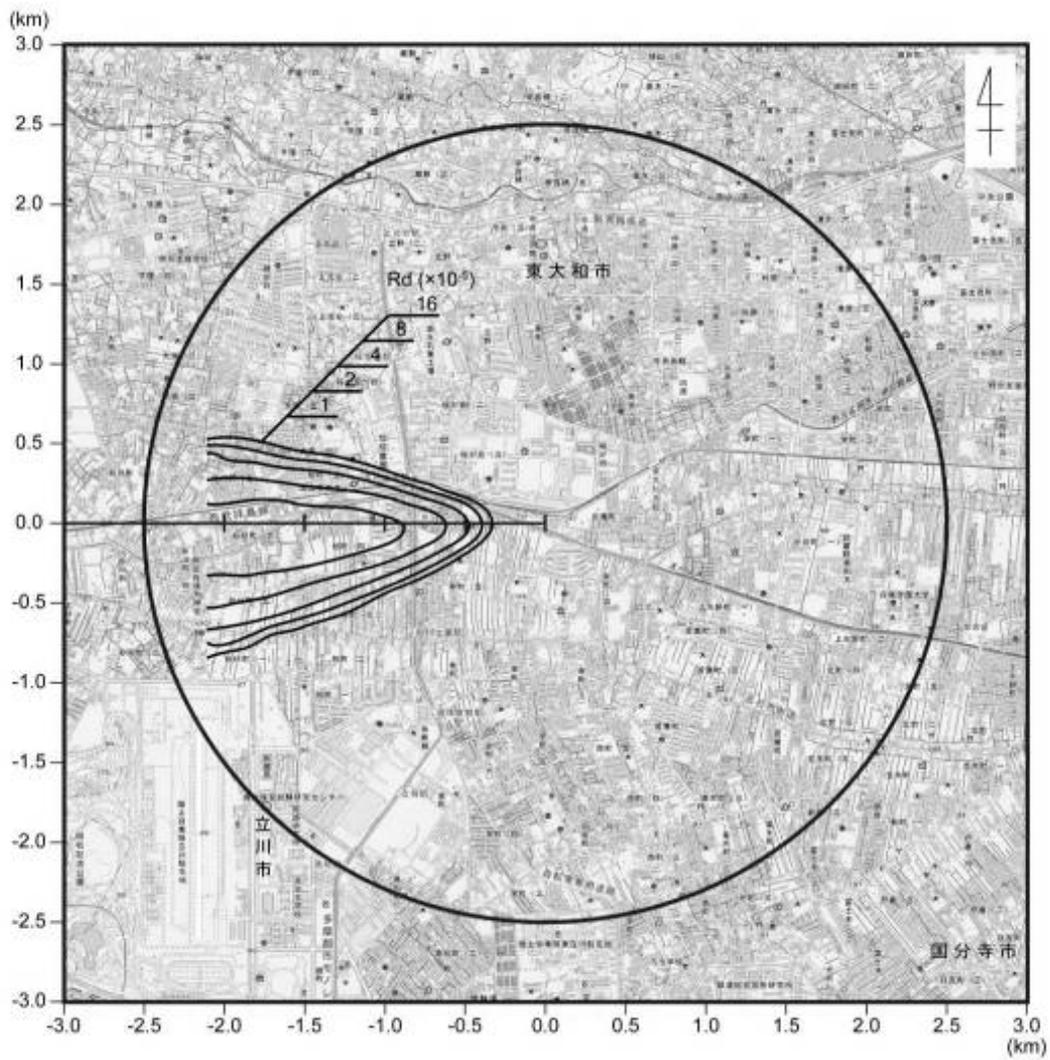


図 8.1-17(3) 地形地表濃度コンター【風向:東、風速 1.8m/秒】

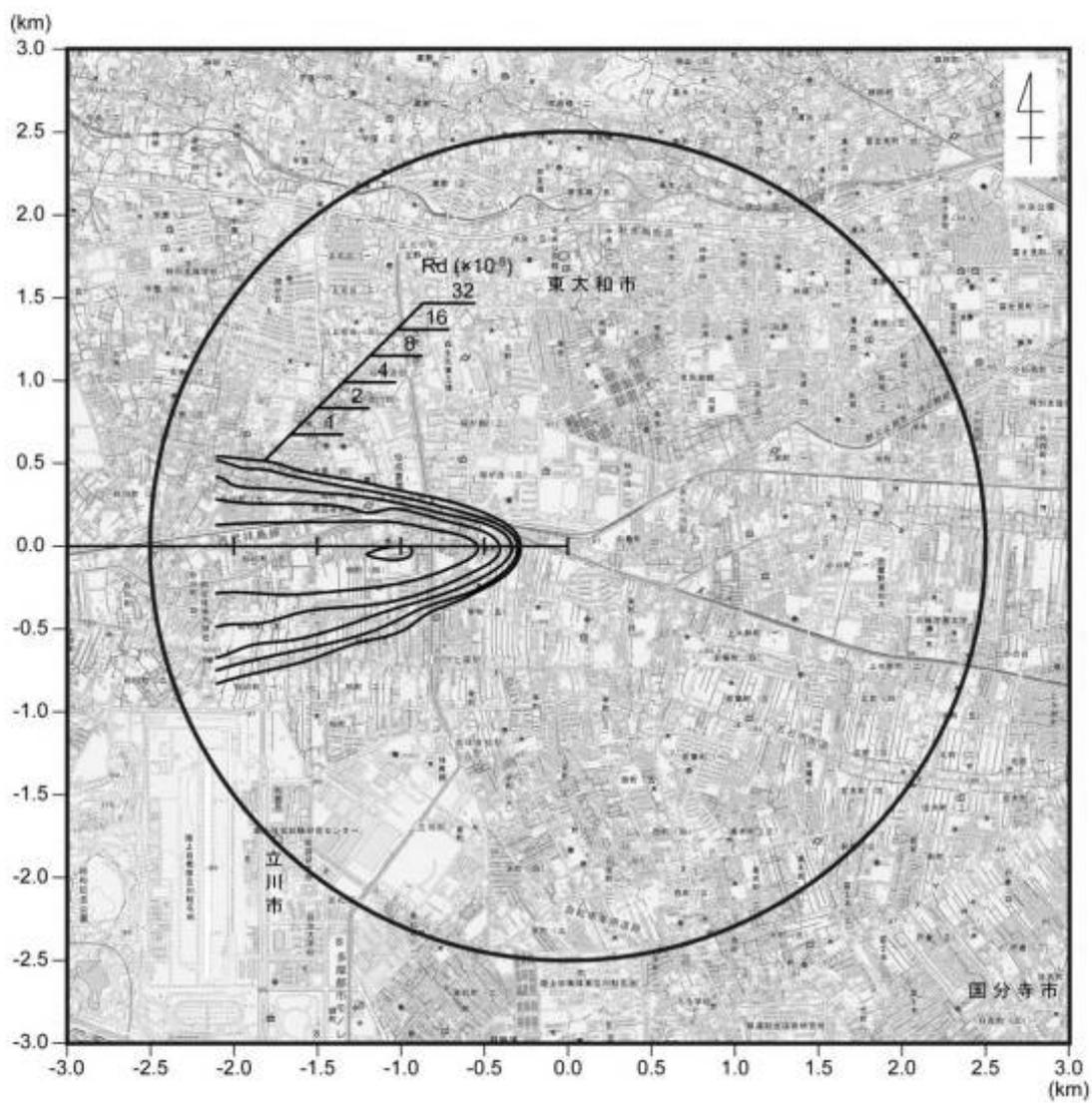


図 8.1-17(4) 地形地表濃度コンター【風向:東、風速 3.5m/秒】

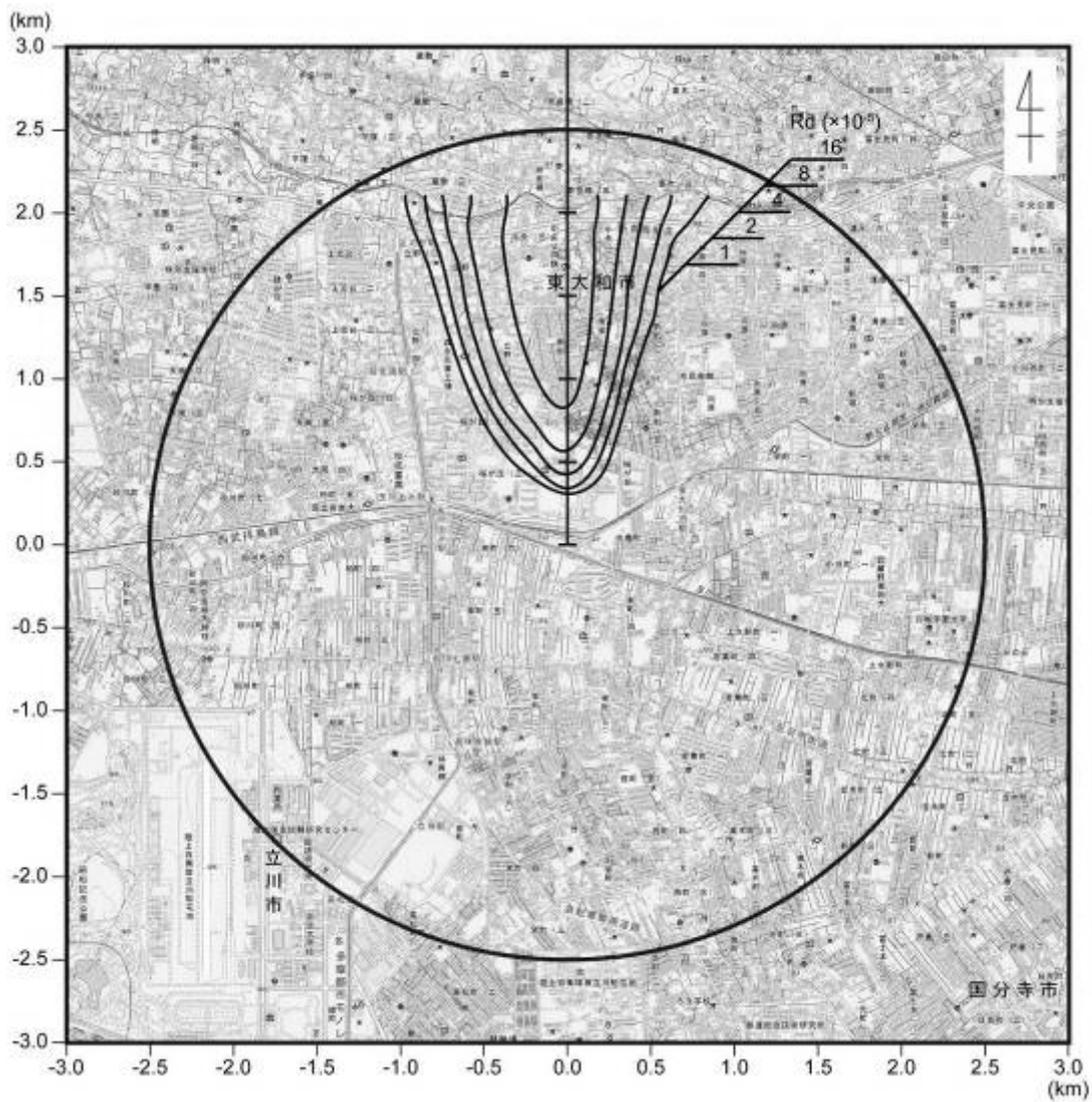


図 8.1-17(5) 地形地表濃度コンター【風向:南、風速 1.8m/秒】

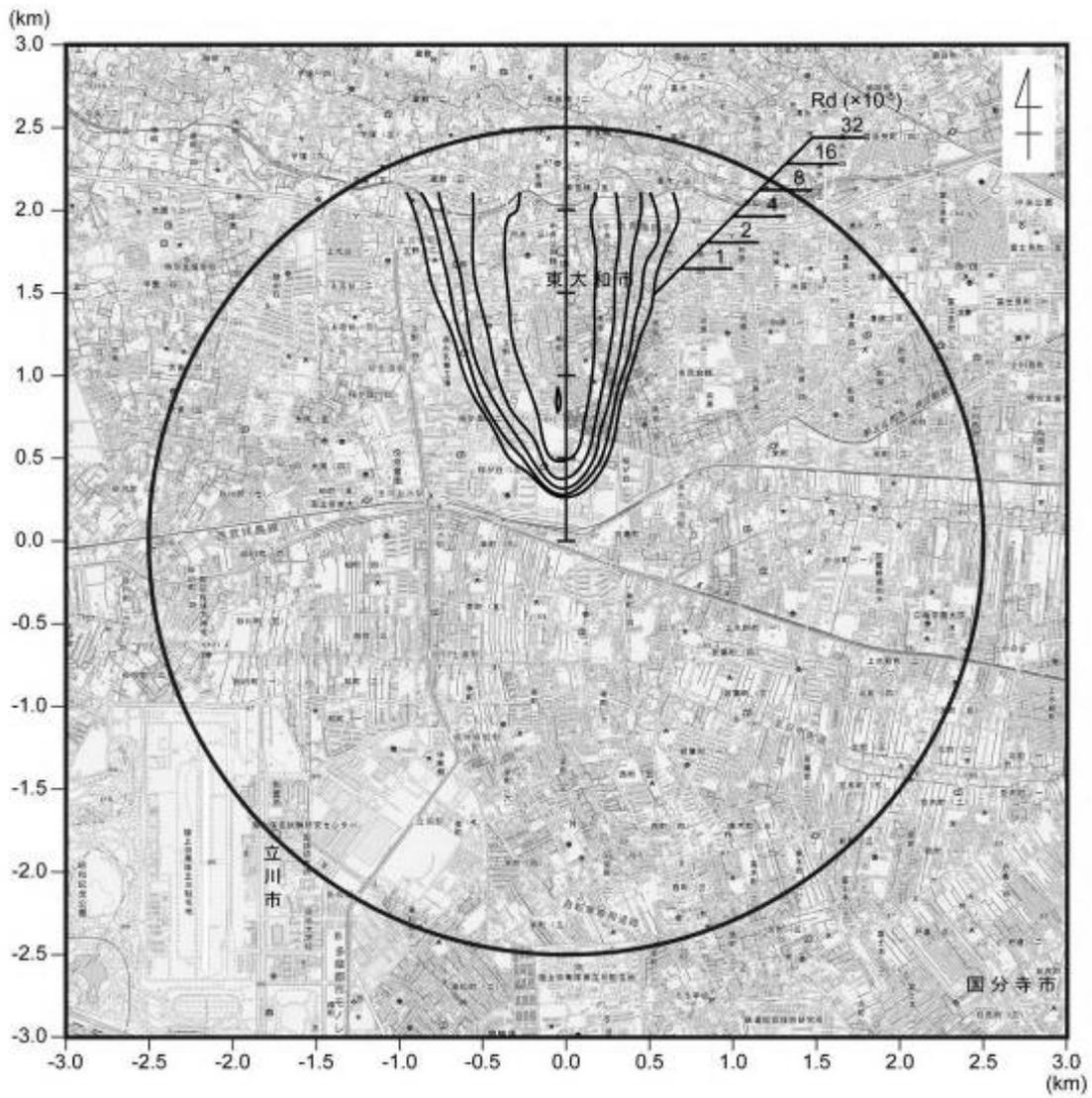


図 8.1-17(6) 地形地表濃度コンター【風向:南、風速 3.5m/秒】

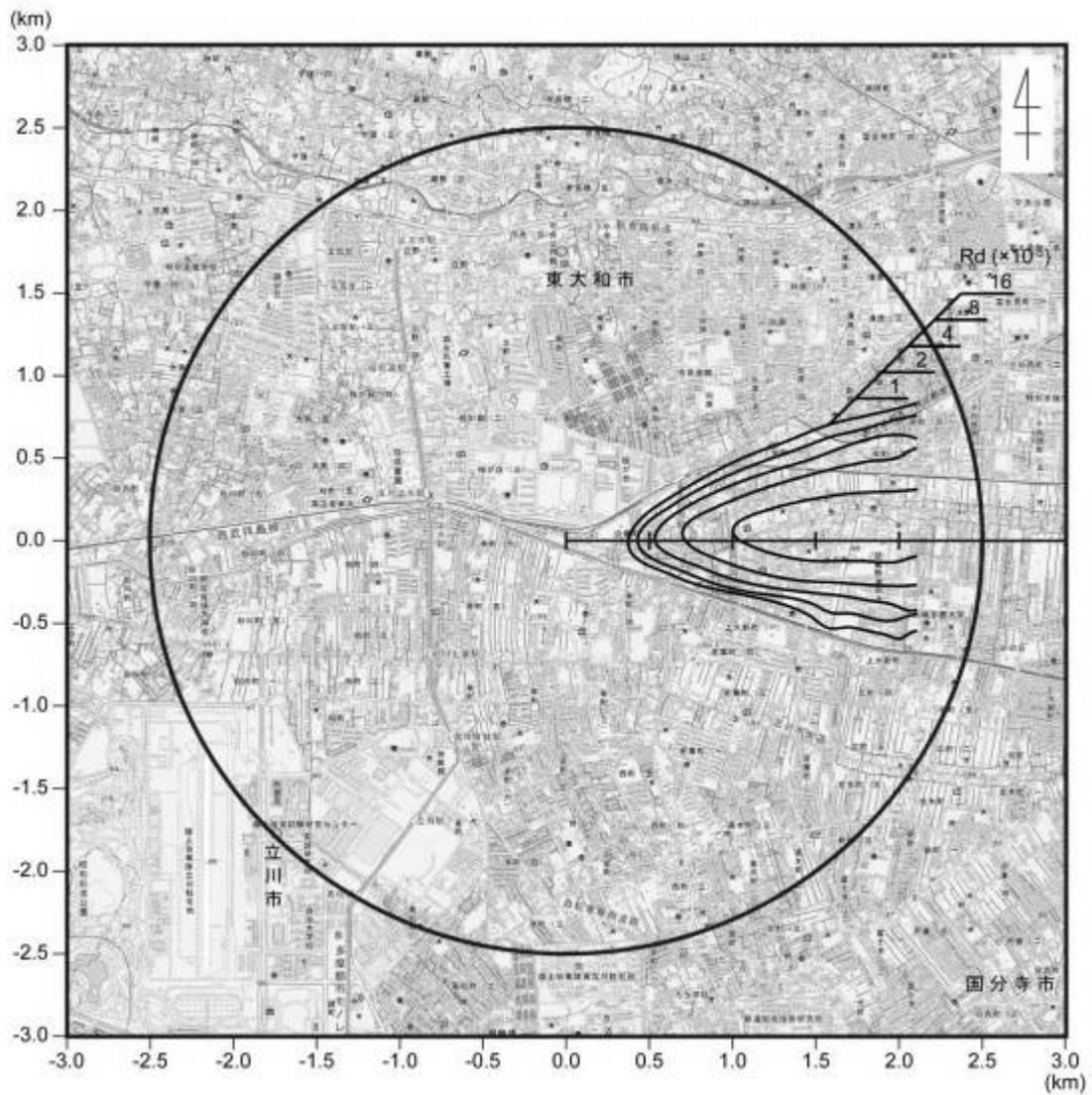


図 8.1-17(7) 地形地表濃度コンター【風向:西、風速 1.8m/秒】

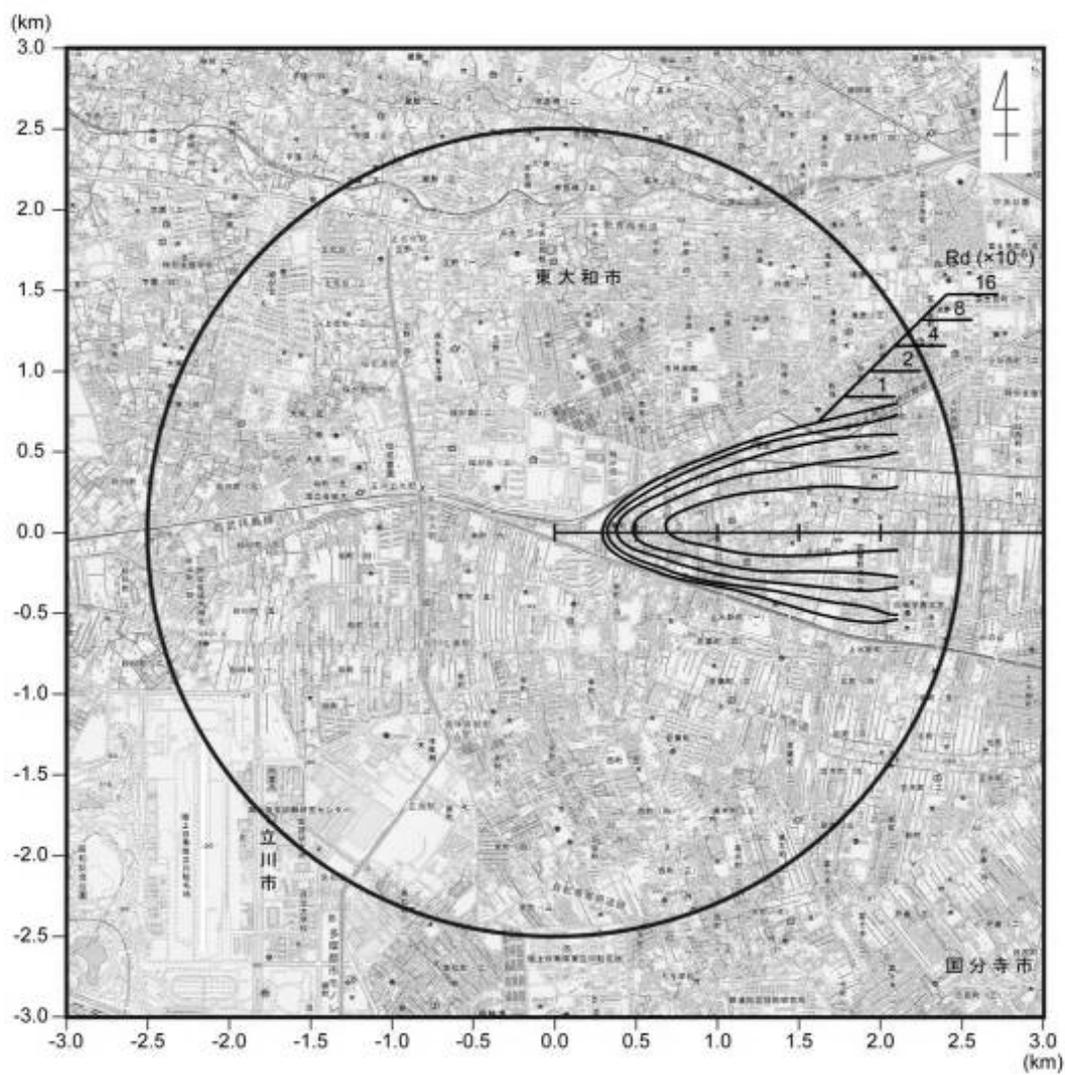


図 8.1-17(8) 地形地表濃度コンター【風向:西、風速 3.5m/秒】

c 地形及び周辺建物の影響度

定量拡散実験における地形及び周辺建物の影響度を、最大着地濃度及び最大着地濃度出現距離について、平地と比較した結果は表8.1-29に示すとおりである。

ここで、最大着地濃度比とは、平地の最大着地濃度に対する地形モデルの最大着地濃度の比、最大着地濃度距離比とは同様に最大着地濃度を検出した距離の比である。

北側の風向は、計画地南側に集合住宅や中層建築物が他の方位に比べて多く存在し、気流の乱れが生じることで煙軸が低下したと考えられ、風速1.8m/秒及び3.5m/秒にて最大着地濃度比が大きくなり、最大着地濃度距離比は低下する傾向があった。

南側の風向における最大着地濃度比は、風速3.5m/秒では他の風向と比較して低下している。煙突下流直近約600mに中層建築物群が存在し、最大着地濃度距離は800mと中層建築物群に近接していることを示していることから、風速の増加による有効煙突高さの低下に加えて、排ガスの下端が中層建築物群の上部で巻き込まれ、他の風向よりも近くで最大着地濃度距離が出現したため、最大着地濃度距離比が低下したと考えられる。

表 8.1-29 最大着地濃度及び最大着地濃度出現距離の比較

○風速 1.8m/秒				
風向	希釈比 ($\times 10^{-5}$)	最大着地 濃度距離 (m)	最大着地 濃度比 α (地形/平板)	最大着地 濃度距離比 β (地形/平板)
平板	22.1	1,650	-	-
北	31.7	1,450	1.43	0.88
東	28.2	1,600	1.28	0.97
南	28.8	1,650	1.30	1.00
西	26.3	1,600	1.19	0.97

○風速 3.5m/秒				
風向	希釈比 ($\times 10^{-5}$)	最大着地 濃度距離 (m)	最大着地 濃度比 α (地形/平板)	最大着地 濃度距離比 β (地形/平板)
平板	23.9	1,150	-	-
北	41.0	950	1.72	0.83
東	34.7	1,100	1.45	0.96
南	33.4	8,00	1.40	0.70
西	29.9	1,050	1.25	0.91

d 風洞実験結果を考慮した補正係数

以下の式に示す長期平均値（年平均値）予測において、有風時（風速1.0m/以上）のプルーム式での計算及び風洞実験による地表濃度分布は図8.1-18に示すとおりである。ここで、補正係数K、Kcは、プルーム式での計算による地表面煙軸濃度に補正係数を乗じた値と、風洞実験による地表面煙軸濃度の各風下距離との偏差が最小になる値とした。

$$C_x = K_c \cdot \frac{1}{\sqrt{2\pi}} \cdot \frac{Q_p}{\frac{\pi}{8} R \sigma_z K u} \cdot \left[\exp \left\{ \frac{(z - H_e)^2}{2(\sigma_z K)^2} \right\} + \exp \left\{ \frac{(z + H_e)^2}{2(\sigma_z K)^2} \right\} \right] \cdot 10^6$$

ここで、

- C_x : 計算点(R, z)の濃度 【ppm 又は mg/m³】
- R : 点煙源と計算点の水平距離 (R = √(x² + y²) R = √(x² + y²) 【m】
- x, y : 計算点の x, y 座標 【m】
- z : 計算点の z 座標 【m】
- Q_p : 点煙源強度 【m³/秒】
- u : 風速 【m/秒】
- H_e : 有効煙突高さ 【m】
- σ_z : 鉛直方向の拡散パラメータ 【m】
- K : 風洞実験による σ_z の補正係数 【-】
- K_c : 風洞実験による濃度の補正係数 【-】

また、風向及び風速による補正係数は表8.1-30のとおりである。

補正係数は風洞実験を実施した8箇所（灰色箇所）は実験から得られた値とし、それ以外の箇所は補正值を線形内挿することにより求めた。

表 8.1-30(1) 風洞実験による補正係数 K 比較

風向	風速		
	1.0~1.8m/秒	1.9~3.4m/秒	3.5m/秒以上
北	1.20	1.18	1.16
北北東	1.19	1.16	1.14
北東	1.17	1.15	1.13
東北東	1.16	1.13	1.11
東	1.14	1.12	1.09
東南東	1.14	1.13	1.11
南東	1.15	1.14	1.14
南南東	1.15	1.15	1.16
南	1.15	1.17	1.18
南南西	1.12	1.13	1.14
南西	1.08	1.09	1.11
西南西	1.05	1.06	1.07
西	1.01	1.02	1.03
西北西	1.06	1.06	1.06
北西	1.11	1.10	1.10
北北西	1.15	1.14	1.13

表 8.1-30(2) 風洞実験による濃度の補正係数 K_c 比較

風向	風速		
	1.0~1.8m/秒	1.9~3.4m/秒	3.5m/秒以上
北	1.19	1.36	1.53
北北東	1.17	1.33	1.49
北東	1.16	1.30	1.45
東北東	1.14	1.27	1.40
東	1.12	1.24	1.36
東南東	1.13	1.25	1.36
南東	1.14	1.25	1.37
南南東	1.14	1.26	1.37
南	1.15	1.26	1.37
南南西	1.15	1.24	1.33
南西	1.15	1.22	1.30
西南西	1.15	1.20	1.26
西	1.15	1.19	1.22
西北西	1.16	1.23	1.30
北西	1.17	1.27	1.38
北北西	1.18	1.32	1.45

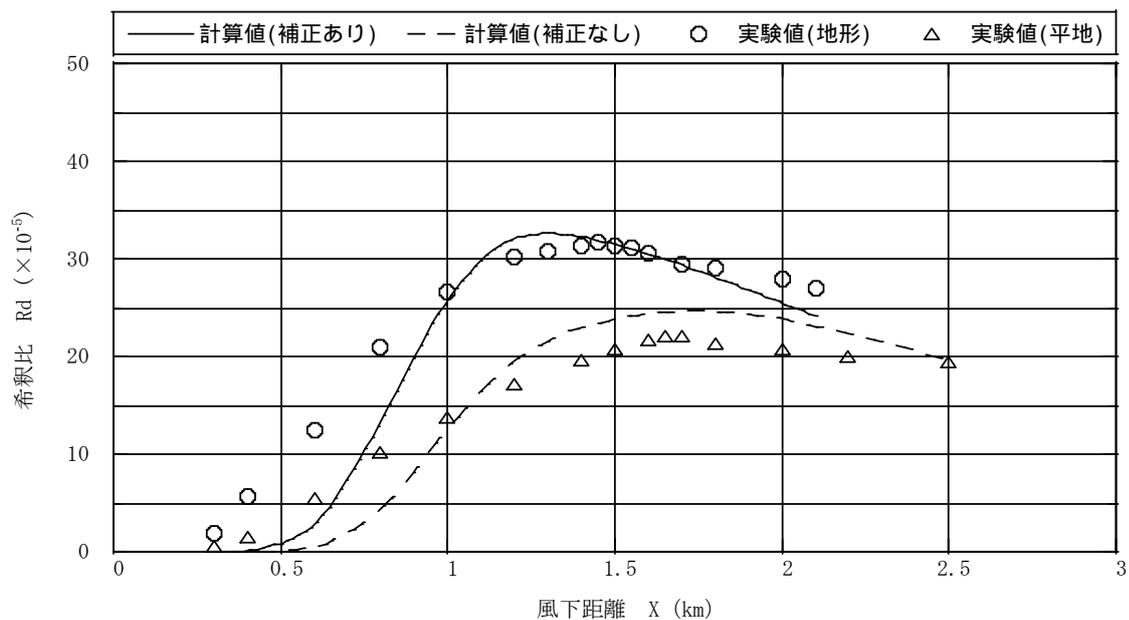


図 8.1-18(1) 排出濃度分布の実験値と計算値の比較
 (風向:北、風速:1.8m/秒、補正係数 K:1.20、補正係数 Kc:1.19)

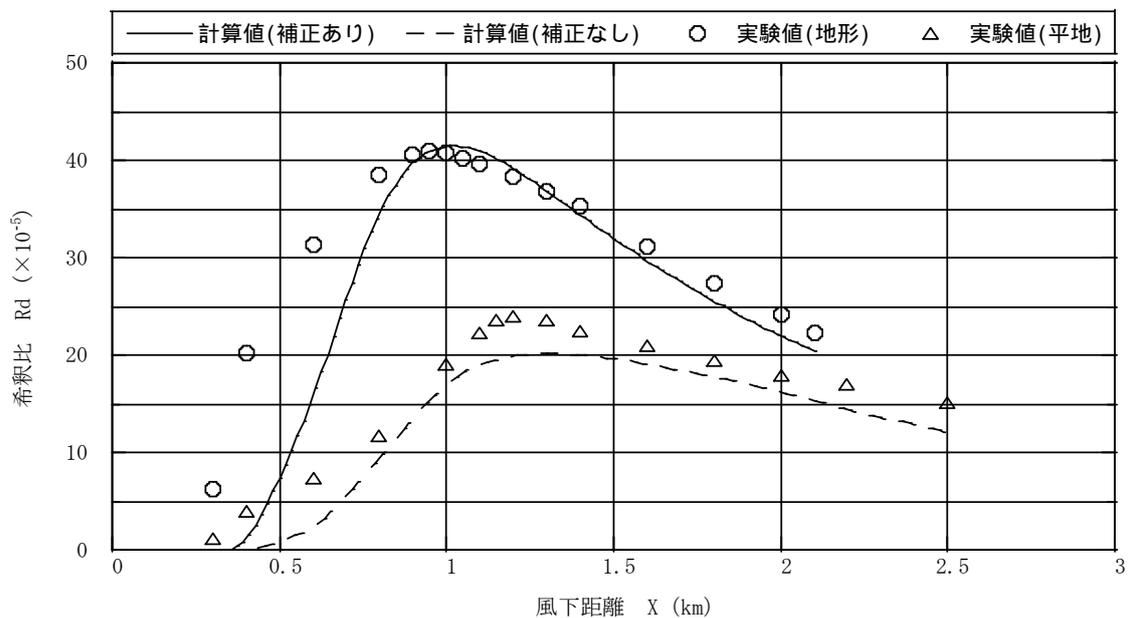


図 8.1-18(2) 排出濃度分布の実験値と計算値の比較
 (風向:北、風速:3.5m/秒、補正係数 K:1.16、補正係数 Kc:1.53)

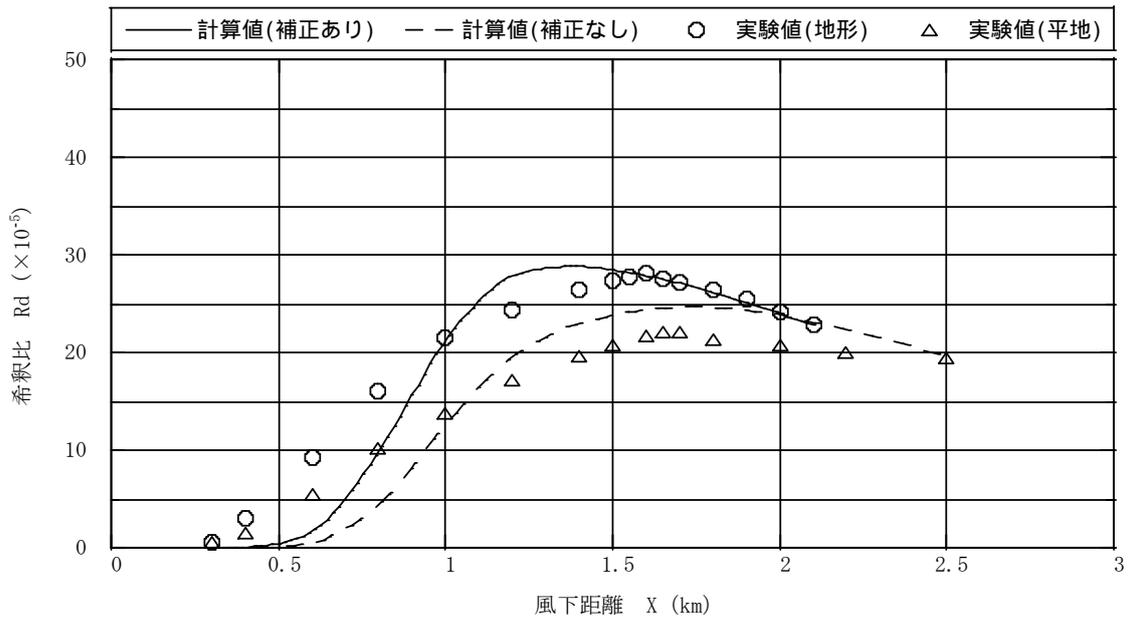


図 8.1-18(3) 排出濃度分布の実験値と計算値の比較
 (風向:東、風速:1.8m/秒、補正係数 K:1.14、補正係数 Kc:1.12)

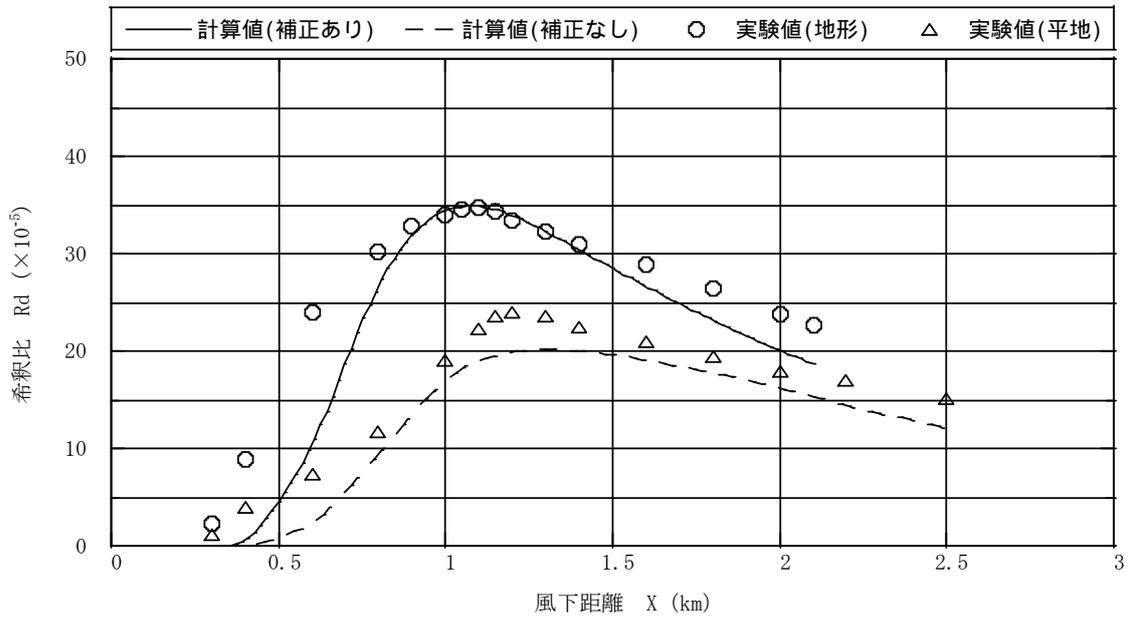


図 8.1-18(4) 排出濃度分布の実験値と計算値の比較
 (風向:東、風速:3.5m/秒、補正係数 K:1.09、補正係数 Kc:1.36)

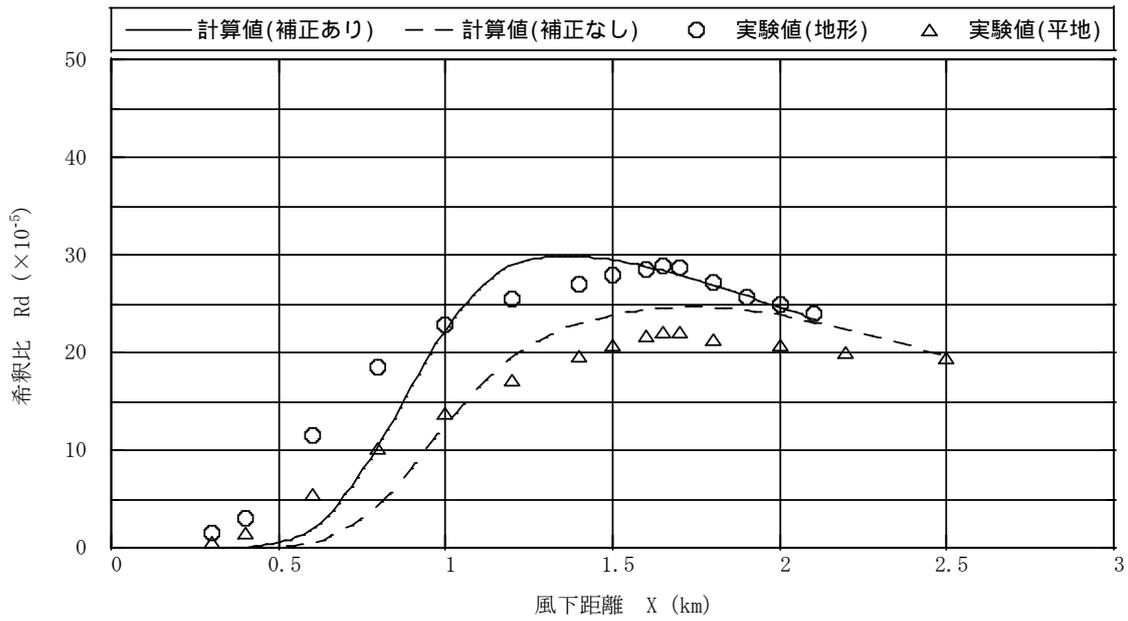


図 8.1-18(5) 排出濃度分布の実験値と計算値の比較
 (風向:南、風速:1.8m/秒、補正係数 K:1.15、補正係数 Kc:1.15)

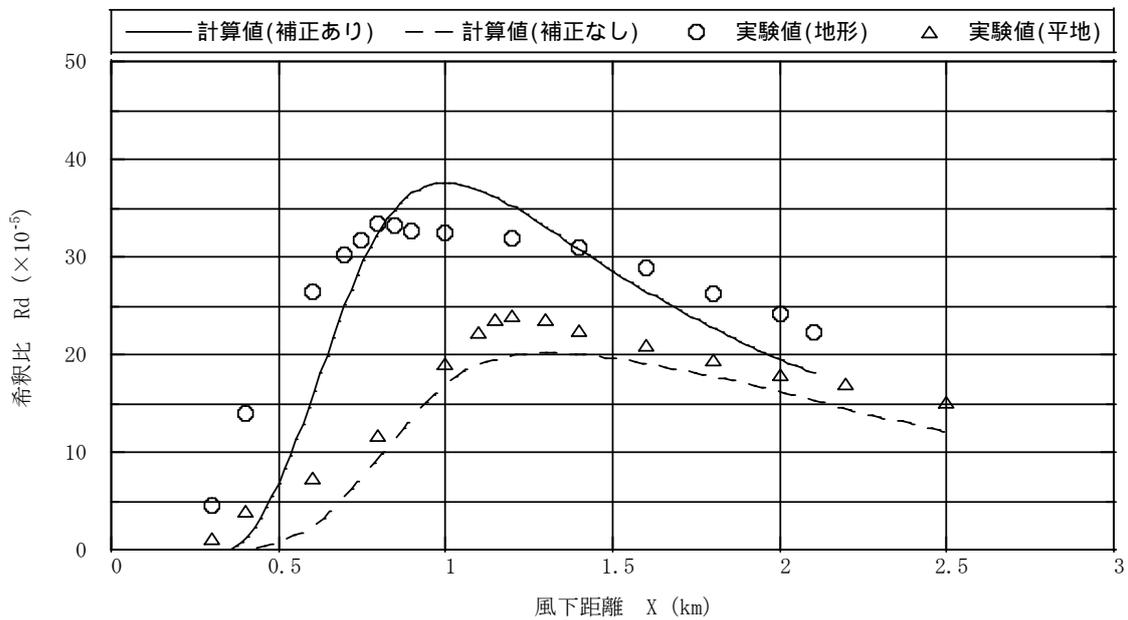


図 8.1-18(6) 排出濃度分布の実験値と計算値の比較
 (風向:南、風速:3.5m/秒、補正係数 K:1.18、補正係数 Kc:1.37)

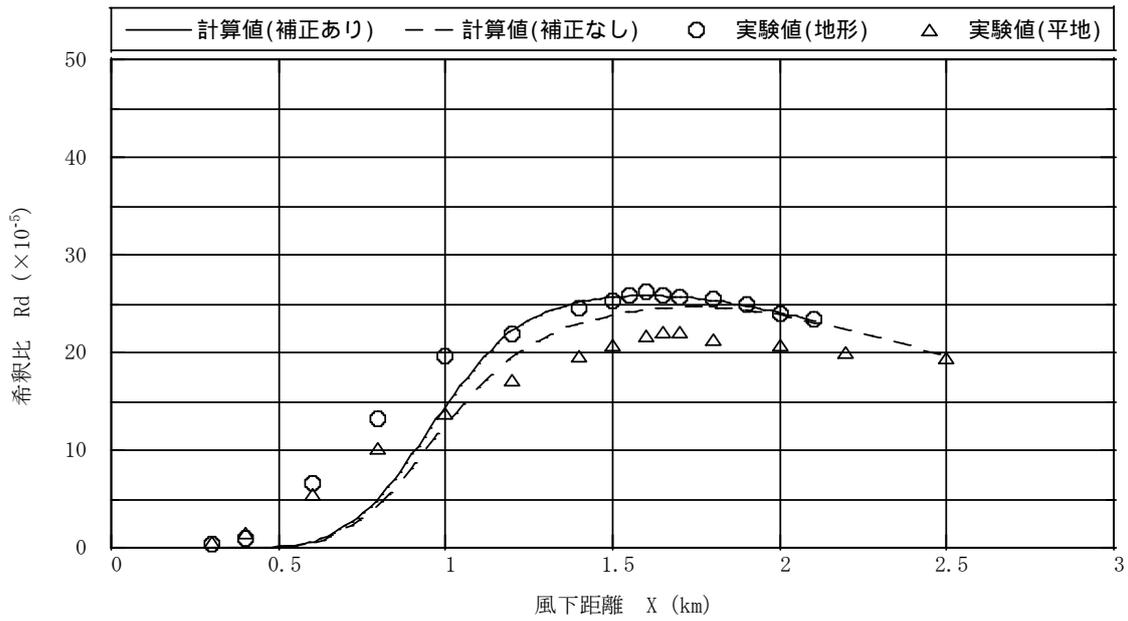


図 8.1-18(7) 排出濃度分布の実験値と計算値の比較
 (風向:西、風速:1.8m/秒、補正係数 K:1.01、補正係数 Kc:1.15)

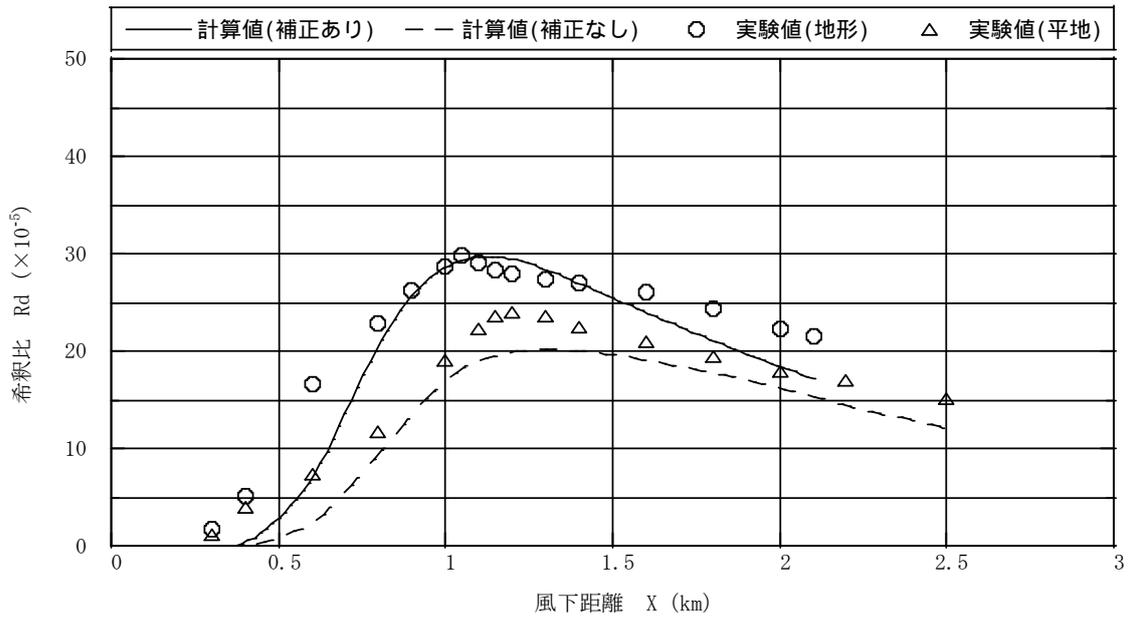


図 8.1-18(8) 排出濃度分布の実験値と計算値の比較
 (風向:西、風速:3.5m/秒、補正係数 K:1.03、補正係数 Kc:1.22)

ク 施設の稼働に伴う煙突排出ガス

(ア) 気象条件

a 大気安定度不安定時

大気安定度不安定時の予測に用いた最大着地濃度地点における気象条件は、表 8.1-31 に示すとおりである。最も高濃度となったのは、風速 1.5m、大気安定度 A の時であった。

表 8.1-31 大気安定度不安定時における二酸化硫黄の予測結果

代表風速 (m/秒)	大気安定度	最大着地濃度地点 (m)	最大着地濃度 (ppm)
0.4	A	50	0.000172
	A-B	100	0.000115
	B	200	0.000076
0.7	A	100	0.000432
	A-B	150	0.000302
	B	250	0.000207
1.5	A	550	0.000432
	A-B	650	0.000403
	B	950	0.000321
2.5	A	450	0.000354
	A-B	600	0.000334
	B	800	0.000282
3.5	A	450	0.000303
	A-B	550	0.000287
	B	750	0.000249

注1) 表中の網掛けは、最大濃度出現時を示す。

b 上層逆転層発生時

上層逆転層発生時の予測に用いた最大着地濃度地点における気象条件は表 8.1-32 に示すとおりである。最も高濃度となったのは、平成 30 年 8 月 11 日（土）18 時における気象条件であった。

表 8.1-32(1) 上層逆転層出現時における二酸化硫黄の予測結果

No.	日付	時間	有効煙突高さ(m)	逆転層高度(m)		温度差(°C)	風速(m/秒)	大気安定度	最大着地濃度地点(m)	予測濃度(ppm)
				下端	上端					
1	1月6日(土)	6時	103	1800	1850	0.3	3.7	F	10,000	0.000080
2	1月6日(土)	12時	123	700	750	0.4	2.2	A-B	600	0.000692
3	1月6日(土)	24時	82	250	350	0.3	8.9	F	10,000	0.000080
4	1月7日(日)	6時	86	1800	1900	0.7	7.2	D	2,450	0.000198
5	1月7日(日)	12時	116	900	1000	0.8	2.6	B	800	0.000558
6	1月7日(日)	18時	104	1150	1250	0.2	3.5	G	10,000	0.000002
7	1月7日(日)	24時	98	200	300	0.6	4.3	D	3,000	0.000240
8	1月13日(土)	6時	154	150	250	1.1	1.3	G	10,000	<0.000001
9	1月13日(土)	12時	121	500	550	0.1	2.3	A-B	600	0.000682
10	1月14日(日)	6時	92	1450	1500	0.1	5.5	F	10,000	0.000088
11	1月14日(日)	12時	128	1850	2000	2.1	2	A-B	650	0.000718
12	1月14日(日)	18時	123	1550	1600	0.6	2.2	G	5,000	<0.000001
13	1月14日(日)	24時	110	1400	1700	3.1	3	G	10,000	0.000002
14	1月20日(土)	6時	104	100	200	0.3	3.5	D	3,100	0.000562
15	1月20日(土)	12時	103	600	650	0.1	3.7	A	450	0.000586
16	1月20日(土)	18時	108	800	850	0.1	3.2	G	10,000	0.000002
17	1月20日(土)	24時	131	1750	1800	0.1	1.9	G	10,000	<0.000001
18	4月7日(土)	6時	85	150	250	0.9	7.3	D	2,450	0.000196
19	4月7日(土)	12時	95	1100	1150	0.4	4.8	B	650	0.000434
20	4月7日(土)	18時	83	500	600	0.9	8.5	D	2,300	0.000182
21	4月7日(土)	24時	144	100	150	0.7	1.5	G	9,950	0.000756
22	4月8日(日)	6時	105	100	150	1.6	3.4	D	3,100	0.000580
23	4月8日(日)	12時	90	1800	1850	0.2	5.9	B	650	0.000390
24	4月14日(土)	6時	100	200	250	0.8	4	D	3,100	0.000244
25	4月14日(土)	18時	76	550	600	0.1	13.5	D	2,000	0.000142
26	4月14日(土)	24時	73	1600	1800	1.4	18.2	D	1,850	0.000116
27	4月15日(日)	6時	108	100	300	2.7	3.2	D	3,050	0.000620
28	4月15日(日)	12時	92	100	150	1	5.4	C	1,200	0.000628
29	4月15日(日)	18時	76	1100	1150	1	13.4	D	2,100	0.000142
30	4月15日(日)	24時	77	600	750	0.8	12.6	F	10,000	0.000068
31	4月21日(土)	6時	154	300	350	0.3	1.3	D	6,150	0.000266
32	4月21日(土)	12時	111	800	900	1.3	2.9	A-B	600	0.000614
33	4月21日(土)	18時	97	400	600	2.3	4.4	D	3,000	0.000238
34	4月21日(土)	24時	114	200	300	1.5	2.7	G	10,000	<0.000001
35	8月11日(土)	6時	144	450	500	0.3	1.5	D	5,550	0.000270
36	8月11日(土)	12時	103	1350	1400	0.1	3.7	A	450	0.000586
37	8月11日(土)	18時	144	100	150	0.1	1.5	D	突き抜け	
	8月11日(土)	18時	144	850	900	0.1	1.5	D	5,550	0.000270

表 8.1-32(2) 上層逆転層発生時における二酸化硫黄の予測結果

No.	日付	時間	有効煙突高さ(m)	逆転層高度(m)		温度差(℃)	風速(m/秒)	大気安定度	最大着地濃度地点(m)	予測濃度(ppm)
				下端	上端					
38	8月11日(土)	24時	93	1550	1650	0.3	5.2	D	2,750	0.000226
39	8月12日(日)	6時	95	150	200	0.3	4.8	D	3,000	0.000234
40	8月12日(日)	12時	125	100	150	0.2	2.1	B	650	0.001920
41	8月12日(日)	18時	116	650	700	0.1	2.6	D	3,900	0.000266
42	8月12日(日)	24時	167	400	450	0.1	1.1	G	5,000	<0.000001
43	8月18日(土)	6時	123	100	200	1.8	2.2	D	2,500	0.001000
44	8月18日(土)	12時	140	1550	1600	0.4	1.6	A	550	0.000838
45	8月18日(土)	18時	89	1450	1500	0.1	6.1	D	2,600	0.000212
46	8月18日(土)	24時	109	100	150	0.1	3.1	G	9,950	0.000014
47	8月19日(日)	6時	117	100	250	0.7	2.5	D	2,800	0.000832
48	8月19日(日)	12時	119	1450	1500	0.3	2.4	A	450	0.000718
49	8月19日(日)	18時	105	1750	1900	2.8	3.4	D	3,400	0.000254
50	8月19日(日)	24時	113	650	750	0.4	2.8	G	10,000	<0.000001
51	8月25日(土)	6時	109	350	400	0.1	3.1	D	3,550	0.000258
52	8月25日(土)	12時	90	1250	1350	0.7	5.8	A-B	500	0.000428
53	8月25日(土)	18時	101	500	550	0.1	3.9	D	3,000	0.000246
54	8月25日(土)	24時	101	100	150	0.2	3.9	G	10,000	0.000008
55	10月20日(土)	6時	89	450	500	0.1	6.2	G	9,550	0.000008
56	10月20日(土)	12時	91	1150	1200	0.1	5.7	A-B	500	0.000432
57	10月21日(日)	6時	94	800	850	0.3	5	F	10,000	0.000088
58	10月21日(日)	24時	104	1750	1850	0.7	3.5	G	10,000	0.000002
59	10月27日(土)	6時	137	350	500	2.4	1.7	D	5,100	0.000272
60	10月27日(土)	12時	99	400	550	1.1	4.2	A	400	0.000554
61	10月27日(土)	18時	87	550	600	0.1	6.8	G	9,950	0.000010
62	10月27日(土)	24時	89	250	300	0.5	6.1	F	10,000	0.000088
63	10月28日(日)	6時	90	150	200	0.2	5.9	F	10,000	0.000088
64	10月28日(日)	12時	137	1950	2000	0.8	1.7	A-B	650	0.000762
65	10月28日(日)	18時	108	1850	2000	1.1	3.2	G	10,000	0.000002
66	10月28日(日)	24時	121	150	200	0.1	2.3	F	10,000	0.000052
67	11月3日(土)	6時	314	100	150	0.1	0.5	G	突き抜け	
	11月3日(土)	6時	314	250	300	2.3	0.5	G	2,150	0.000012
68	11月3日(土)	18時	107	1300	1350	0.2	3.3	G	10,000	0.000002
69	11月3日(土)	24時	100	1100	1150	0.1	4	G	10,000	0.000004

注1)表中の網掛けは、最大濃度出現時を示す。

c 逆転層崩壊時（フュミゲーション）

逆転層崩壊時（フュミゲーション）の予測に用いた最大着地濃度地点における気象条件は、表 8.1-33 に示すとおりである。最も高濃度となったのは平成 30 年 8 月 12 日（日）24 時における気象条件であった。

表 8.1-33 逆転層崩壊時（フュミゲーション）における二酸化硫黄の予測結果

No.	日付	時間	有効煙突高さ(m)	逆転層高度(m)		温度差(°C)	風速(m/秒)	最大着地濃度地点(m)	予測濃度(ppm)
				下端	上端				
1	1月6日(土)	6時	103	地上	250	5.4	3.7	15,386	0.000399
2	1月14日(日)	6時	92	50	150	1.2	5.5	2,889	0.000764
3	1月20日(土)	24時	131	地上	200	1.5	1.9	1,250	0.002002
4	4月21日(土)	6時	154	地上	150	2.1	1.3	831	0.002628
5	4月21日(土)	24時	114	地上	150	1.2	2.7	946	0.001806
6	8月12日(日)	24時	167	地上	150	0.8	1.1	300	0.003335
7	10月20日(土)	6時	89	地上	150	1.4	6.2	2,465	0.000726
8	10月21日(日)	24時	104	地上	100	4.2	3.5	13,492	0.000568
9	11月3日(土)	24時	100	地上	150	1.7	4.0	1,961	0.001101

注1) 表中の網掛けは、最大濃度出現時を示す。

8.1.3 評価

(1) 評価方法

年平均値から日平均値の2%除外値又は日平均値の年間98%値への変換は、東京都多摩地域にある常時監視測定局における過去5年間（平成25年度から平成29年度まで）の値について一次回帰分析を行い求めた。

各測定局における過去5年間の測定結果は表8.1-34に示すとおりであり、一次回帰分析結果は表8.1-35及び図8.1-19に示すとおりである。

表 8.1-34(1) 一般環境大気測定局測定結果（二酸化硫黄）

単位：ppm

測定局	項目	平成				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
八王子市片倉町測定局	年平均値	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001
	日平均値の2%除外値	0.002	0.003	0.003	0.002	0.002
八王子市館町測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の2%除外値	—	—	—	—	—
八王子市大楽寺町測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の2%除外値	—	—	—	—	—
立川市泉町測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の2%除外値	—	—	—	—	—
武蔵野市関前測定局	年平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000
	日平均値の2%除外値	0.002	0.003	0.003	0.002	0.001
青梅市東青梅測定局	年平均値	0.001	0.001	0.002	0.001	0.000
	日平均値の2%除外値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001
府中市宮西町測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の2%除外値	—	—	—	—	—
調布市深大寺南町測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の2%除外値	—	—	—	—	—
町田市金森測定局	年平均値	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001
	日平均値の2%除外値	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002
町田市能ヶ谷測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の2%除外値	—	—	—	—	—
金井市本町測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の2%除外値	—	—	—	—	—
小平市小川町測定局	年平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	日平均値の2%除外値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
福生市本町測定局	年平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	日平均値の2%除外値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
狛江市中和泉測定局	年平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	日平均値の2%除外値	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002
東大和市奈良橋測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の2%除外値	—	—	—	—	—
清瀬市上清戸測定局	年平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	日平均値の2%除外値	0.003	0.003	0.002	0.002	0.001
多摩市愛宕測定局	年平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	日平均値の2%除外値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
西東京市田無町測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の2%除外値	—	—	—	—	—
西東京市下保谷測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の2%除外値	—	—	—	—	—

表 8.1-34(2) 一般大気測定局測定結果 (浮遊粒子状物質)

単位: mg/m³

測定局	項目	平成				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
八王子市片倉町 測定局	年平均値	0.017	0.016	0.014	0.012	0.012
	日平均値の2%除外値	0.050	0.045	0.040	0.031	0.031
八王子市館町 測定局	年平均値	0.017	0.016	0.014	0.013	0.013
	日平均値の2%除外値	0.053	0.045	0.040	0.033	0.033
八王子市大楽寺町 測定局	年平均値	0.018	0.016	0.016	0.013	0.014
	日平均値の2%除外値	0.055	0.047	0.041	0.035	0.035
立川市泉町 測定局	年平均値	0.022	0.019	0.017	0.015	0.015
	日平均値の2%除外値	0.063	0.048	0.041	0.036	0.036
武蔵野市関前 測定局	年平均値	0.018	0.018	0.017	0.018	0.018
	日平均値の2%除外値	0.052	0.051	0.040	0.040	0.040
青梅市東青梅 測定局	年平均値	0.019	0.017	0.014	0.012	0.012
	日平均値の2%除外値	0.049	0.046	0.039	0.031	0.031
府中市宮西町 測定局	年平均値	0.022	0.019	0.018	0.015	0.015
	日平均値の2%除外値	0.053	0.047	0.044	0.038	0.038
調布市深大寺南町 測定局	年平均値	0.020	0.019	0.017	0.014	0.014
	日平均値の2%除外値	0.050	0.047	0.042	0.034	0.034
町田市金森 測定局	年平均値	0.020	0.020	0.018	0.016	0.015
	日平均値の2%除外値	0.053	0.052	0.052	0.041	0.041
町田市能ヶ谷 測定局	年平均値	0.022	0.021	0.019	0.017	0.018
	日平均値の2%除外値	0.058	0.052	0.044	0.048	0.048
小金井市本町 測定局	年平均値	0.020	0.019	0.019	0.017	0.017
	日平均値の2%除外値	0.048	0.050	0.040	0.037	0.037
小平市小川町 測定局	年平均値	0.021	0.020	0.018	0.016	0.016
	日平均値の2%除外値	0.054	0.052	0.045	0.037	0.037
福生市本町 測定局	年平均値	0.018	0.019	0.018	0.016	0.016
	日平均値の2%除外値	0.054	0.050	0.042	0.037	0.037
狛江市中和泉 測定局	年平均値	0.021	0.020	0.019	0.015	0.015
	日平均値の2%除外値	0.051	0.048	0.049	0.036	0.036
東大和市奈良橋 測定局	年平均値	0.018	0.017	0.017	0.017	0.017
	日平均値の2%除外値	0.054	0.045	0.042	0.042	0.042
清瀬市上清戸 測定局	年平均値	0.021	0.022	0.021	0.017	0.019
	日平均値の2%除外値	0.056	0.050	0.050	0.041	0.041
多摩市愛宕 測定局	年平均値	0.017	0.016	0.021	0.016	0.016
	日平均値の2%除外値	0.053	0.046	0.050	0.036	0.036
西東京市田無町 測定局	年平均値	0.020	0.020	0.017	0.016	0.016
	日平均値の2%除外値	0.048	0.051	0.042	0.040	0.040
西東京市下保谷 測定局	年平均値	0.023	0.021	0.021	0.018	0.019
	日平均値の2%除外値	0.058	0.057	0.054	0.047	0.047

表 8.1-34(3) 一般大気測定局測定結果(二酸化窒素)

単位：ppm

測定局	項目	平成				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
八王子市片倉町 測定局	年平均値	0.016	0.016	0.015	0.013	0.014
	日平均値の年間98%値	0.032	0.030	0.027	0.025	0.028
八王子市館町 測定局	年平均値	0.011	0.011	0.010	0.010	0.010
	日平均値の年間98%値	0.026	0.023	0.022	0.020	0.021
八王子市大楽寺町 測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の年間98%値	—	—	—	—	—
立川市泉町 測定局	年平均値	0.015	0.015	0.014	0.013	0.013
	日平均値の年間98%値	0.031	0.028	0.028	0.026	0.027
武蔵野市関前 測定局	年平均値	0.016	0.016	0.015	0.014	0.014
	日平均値の年間98%値	0.038	0.032	0.034	0.031	0.035
青梅市東青梅 測定局	年平均値	0.010	0.009	0.008	0.007	0.008
	日平均値の年間98%値	0.021	0.019	0.017	0.015	0.016
府中市宮西町 測定局	年平均値	0.017	0.017	0.016	0.015	0.015
	日平均値の年間98%値	0.036	0.034	0.031	0.030	0.033
調布市深大寺南町 測定局	年平均値	0.015	0.015	0.014	0.013	0.014
	日平均値の年間98%値	0.033	0.031	0.032	0.03	0.031
町田市金森 測定局	年平均値	0.014	0.014	0.013	0.012	0.012
	日平均値の年間98%値	0.031	0.028	0.027	0.026	0.026
町田市能ヶ谷 測定局	年平均値	—	—	—	—	—
	日平均値の年間98%値	—	—	—	—	—
小金井市本町 測定局	年平均値	0.014	0.014	0.014	0.012	0.013
	日平均値の年間98%値	0.033	0.031	0.03	0.029	0.031
小平市小川町 測定局	年平均値	0.014	0.014	0.014	0.013	0.014
	日平均値の年間98%値	0.032	0.029	0.031	0.03	0.031
福生市本町 測定局	年平均値	0.015	0.015	0.014	0.014	0.014
	日平均値の年間98%値	0.031	0.026	0.026	0.025	0.026
狛江市中和泉 測定局	年平均値	0.016	0.016	0.016	0.015	0.015
	日平均値の年間98%値	0.035	0.034	0.035	0.033	0.034
東大和市奈良橋 測定局	年平均値	0.013	0.012	0.012	0.011	0.013
	日平均値の年間98%値	0.029	0.025	0.026	0.026	0.027
清瀬市上清戸 測定局	年平均値	0.015	0.015	0.014	0.013	0.013
	日平均値の年間98%値	0.033	0.030	0.030	0.029	0.029
多摩市愛宕 測定局	年平均値	0.015	0.015	0.015	0.013	0.013
	日平均値の年間98%値	0.034	0.030	0.030	0.028	0.029
西東京市田無町 測定局	年平均値	0.014	0.014	0.014	0.013	0.013
	日平均値の年間98%値	0.034	0.030	0.031	0.030	0.032
西東京市下保谷 測定局	年平均値	0.016	0.015	0.015	0.014	0.015
	日平均値の年間98%値	0.037	0.035	0.033	0.031	0.036

表 8.1-34(4) 自動車排出ガス測定局測定結果（浮遊粒子状物質）

単位：mg/m³

測定局	項目	平成				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
甲州街道八木町 測定局	年平均値	0.018	0.018	0.017	0.015	0.015
	日平均値の2%除外値	0.054	0.050	0.044	0.034	0.034
五日市街道武蔵境 測定局	年平均値	0.021	0.021	0.021	0.018	0.017
	日平均値の2%除外値	0.056	0.051	0.048	0.040	0.035
連雀通り下連雀 測定局	年平均値	0.020	0.019	0.018	0.015	0.017
	日平均値の2%除外値	0.056	0.051	0.044	0.038	0.037
川崎街道百草園 測定局	年平均値	0.019	0.018	0.018	0.015	0.015
	日平均値の2%除外値	0.056	0.049	0.047	0.035	0.033
新青梅街道東村山 測定局	年平均値	0.021	0.021	0.021	0.018	0.018
	日平均値の2%除外値	0.056	0.048	0.048	0.040	0.037
甲州街道国立 測定局	年平均値	0.021	0.021	0.021	0.018	0.019
	日平均値の2%除外値	0.056	0.052	0.047	0.039	0.037
小金井街道東久留米 測定局	年平均値	0.022	0.020	0.019	0.016	0.016
	日平均値の2%除外値	0.062	0.050	0.055	0.044	0.037
青梅街道柳沢 測定局	年平均値	0.025	0.023	0.022	0.020	0.019
	日平均値の2%除外値	0.065	0.058	0.050	0.047	0.042
東京環状長岡 測定局	年平均値	0.025	0.023	0.021	0.020	0.017
	日平均値の2%除外値	0.075	0.068	0.058	0.049	0.037

表 8.1-34(5) 自動車排出ガス測定局測定結果（二酸化窒素）

単位：ppm

測定局	項目	平成				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
甲州街道八木町 測定局	年平均値	0.018	0.018	0.017	0.015	0.015
	日平均値の年間98%値	0.035	0.033	0.031	0.029	0.029
五日市街道武蔵境 測定局	年平均値	0.018	0.018	0.017	0.016	0.017
	日平均値の年間98%値	0.037	0.034	0.035	0.034	0.035
連雀通り下連雀 測定局	年平均値	0.018	0.019	0.019	0.017	0.018
	日平均値の年間98%値	0.038	0.034	0.038	0.034	0.038
川崎街道百草園 測定局	年平均値	0.017	0.016	0.016	0.015	0.016
	日平均値の年間98%値	0.032	0.030	0.030	0.028	0.031
新青梅街道東村山 測定局	年平均値	0.025	0.027	0.026	0.024	0.025
	日平均値の年間98%値	0.044	0.042	0.041	0.040	0.039
甲州街道国立 測定局	年平均値	0.022	0.022	0.021	0.019	0.019
	日平均値の年間98%値	0.039	0.036	0.035	0.033	0.035
小金井街道東久留米 測定局	年平均値	0.021	0.021	0.020	0.018	0.018
	日平均値の年間98%値	0.040	0.037	0.038	0.035	0.035
青梅街道柳沢 測定局	年平均値	0.023	0.022	0.021	0.019	0.019
	日平均値の年間98%値	0.043	0.037	0.039	0.036	0.038
東京環状長岡 測定局	年平均値	0.022	0.021	0.019	0.019	0.019
	日平均値の年間98%値	0.041	0.036	0.033	0.032	0.033

表 8.1-35 一次回帰分析結果

測定局	項目	変換式	サンプル数	相関関数
一般環境大気測定局	二酸化硫黄	$y=0.7994x+0.0014$	45	0.3546
	浮遊粒子状物質	$y=2.4512x+0.0018$	95	0.7239
	二酸化窒素	$y=2.0147x+0.0018$	85	0.7613
自動車排出ガス測定局	浮遊粒子状物質	$y=3.2743x-0.0015$	45	0.7314
	二酸化窒素	$y=1.0829x+0.0146$	45	0.7024

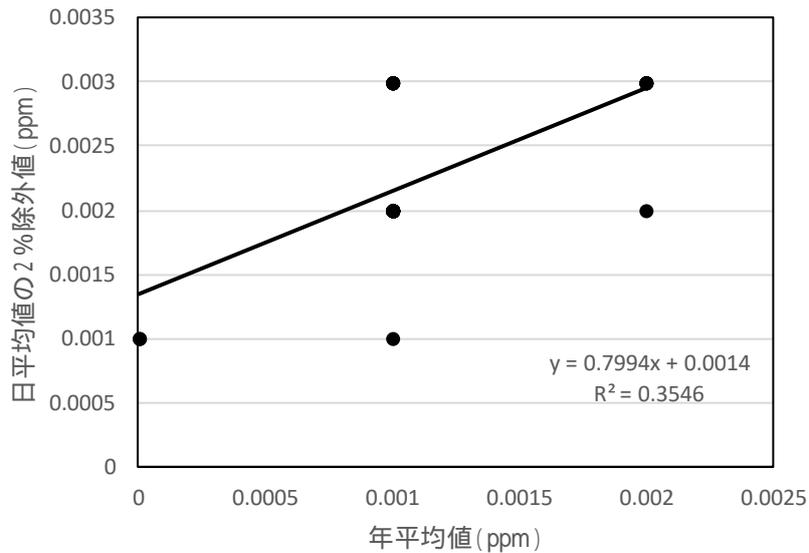


図 8.1-19(1) 一般環境大気測定局年平均値・日平均値の2%除外値散布図
(二酸化硫黄)

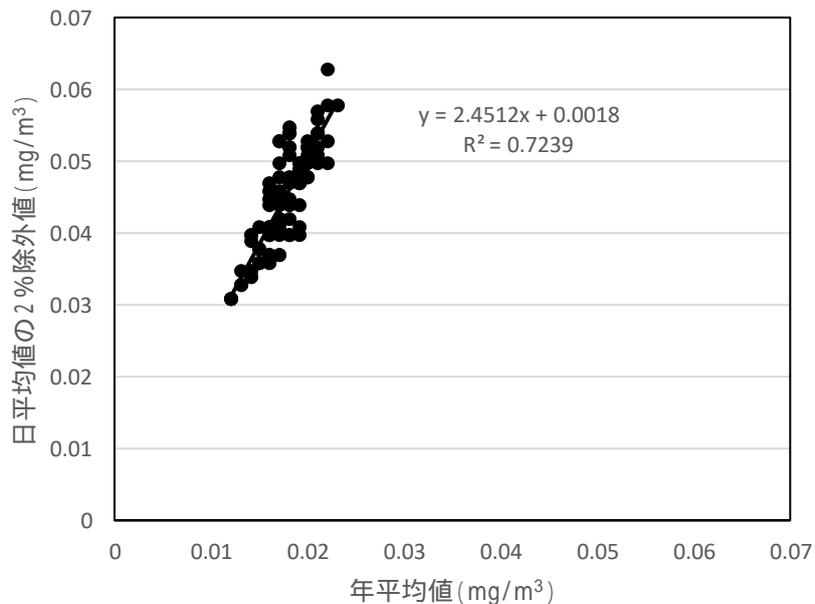


図 8.1-19(2) 一般環境大気測定局年平均値・日平均値の2%除外値散布図
(浮遊粒子状物質)

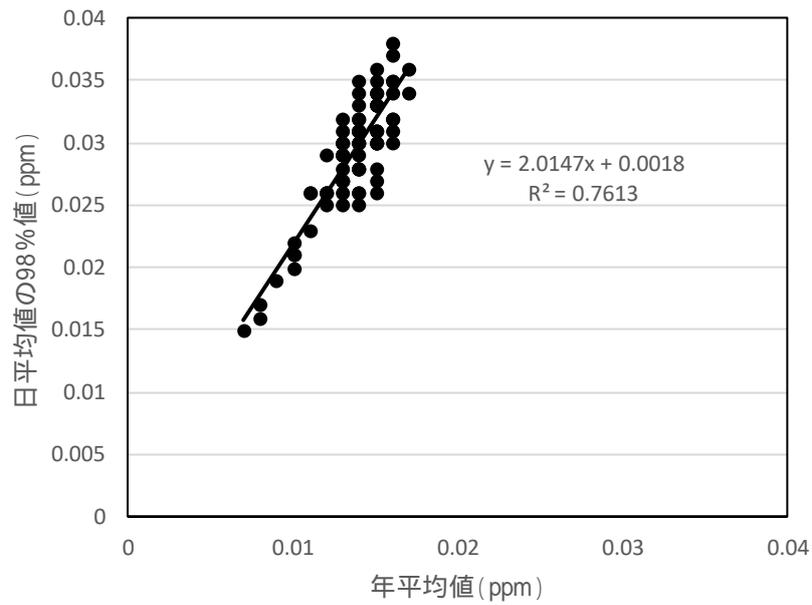


図 8.1-19(3) 一般環境大気測定局年平均値・日平均値の年間 98% 値散布図
(二酸化窒素)

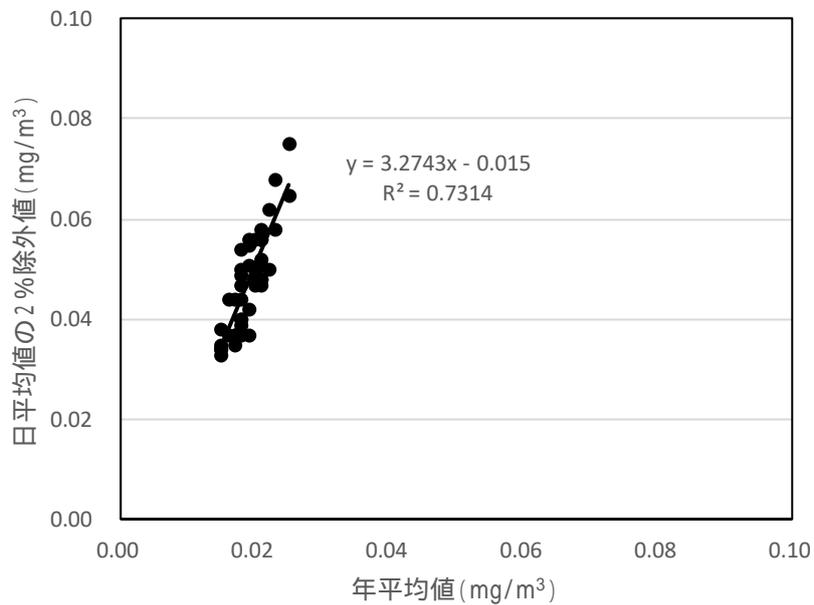


図 8.1-19(4) 自動車排出ガス測定局年平均値・日平均値の 2% 除外値散布図
(浮遊粒子状物質)

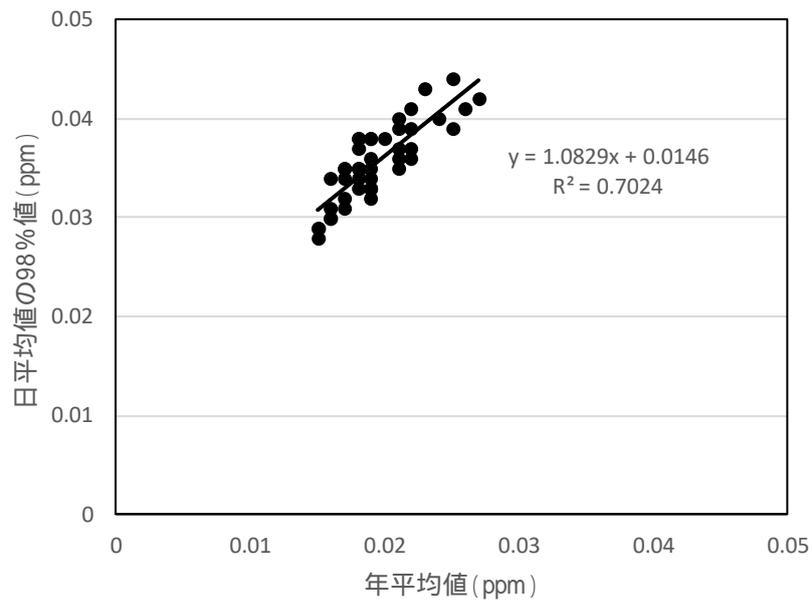


図 8.1-19(5) 自動車排出ガス測定局年平均値・日平均値の 2%除外値散布図
(二酸化窒素)